環境報告

日野自動車は「人、そして物の移動を支え、豊かで住みよい世界と未来に貢献する」という基本理念を掲げ、お客様に選ばれ続ける企業を目指し、事業を推進してまいりました。環境問題に対しても、経営の最重要課題のひとつと考え、企業市民として継続的に取り組んでいます。

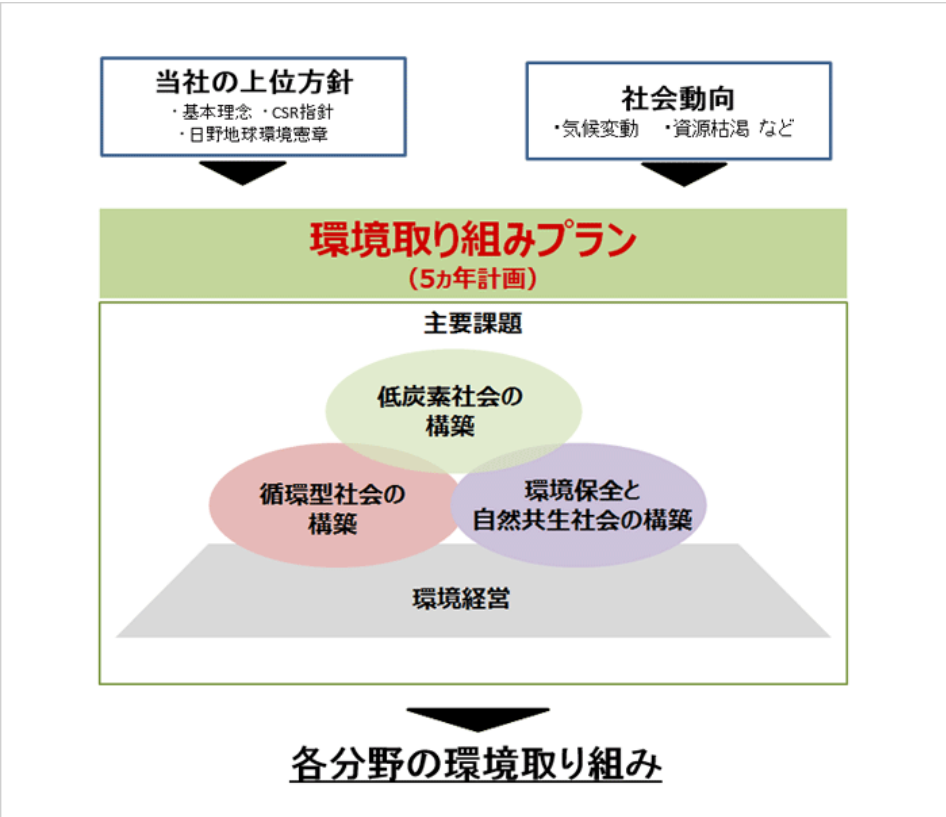
今年度、日野自動車は、2020年度までの環境への取り組み実行計画として、「2020年　環境取り組みプラン」を策定しました。
この実行計画に沿って環境への取り組みを推進することで、商用車メーカーとして環境に配慮した製品や、サービスをお客様に提供することを通じて、よりよい社会構築の一助となることを目指したいと考えております。

ここでは「2020年環境取り組みプラン」に込めた日野自動車の想いや具体的内容を中心に、特集記事としてまとめます。

「環境取り組みプラン」とは？

環境取り組みプランは、当社の基本理念・CSR指針に沿って、環境への取り組みを具体的に進めるための中期計画です。1993年に策定した第1次環境取り組みプランを皮切りに、社会動向を踏まえて5ヵ年ごとに取り組みの内容・範囲を拡大し、今回、第6次として「2020年　環境取り組みプラン」を策定しました。今回のプランでは、「低炭素社会の構築」、「循環型社会の構築」、「自然共生社会の構築」を日野自動車の将来の目指す姿とし、製品のライフサイクル全般において環境との調和を図り、社会の持続的発展に貢献します。

「環境取り組みプラン」の位置づけ



製品ライフサイクルの各分野における取り組み

製品分野

商用車メーカートップクラスの環境性能を目指し、温暖化防止に資する車両燃費の向上、各国規制に対応するための排出ガス低減技術の開発等、トータルでの取り組みを進めています。

「2020年 環境取組みプラン」では、運輸部門でのCO_2排出量（※）低減に貢献するため、走行段階でのCO_2低減に向け、更なる燃費向上や電気エネルギーを利用した次世代車の開発に重点的に取り組んでいきます。

※日本全体のCO_2排出量のうち、運輸部門で17％を占める（2013 環境省データより）

生産・物流分野

製品を生み出し、お客様へお届けするための各プロセスにおいて環境影響を最小化することを目指し、CO_2・廃棄物・水使用量などの指標について数値目標を設定の上、活動を推進しています。
「2020年 環境取組みプラン」では、「ポスト京都」に向けた温暖化ガス低減についての国際的な議論の本格化を背景とし、特に生産分野でのCO_2排出量低減を重点課題とし、地球温暖化防止に向け、更なる貢献を目指して活動します。

販売・アフター分野

お客様との接点である販売拠点を環境に配慮したものにするだけでなく、当社製品の使用段階においてもお客様により環境にやさしく使っていただくための各種支援を通じて、地域やお客様目線での活動を積極的に進めます。

「2020年 環境取組みプラン」では地域と共生する販売拠点を目指し、エコマネジメントディーラー認定制度（※）の活用により環境法令順守の徹底や、CO_2排出などあらゆる環境影響を低減させること加え、エコドライブ講習会などを通じたお客様のCO_2低減を支援する取り組みも進めてまいります。

※　日野グループ販売拠点における環境マネジメントシステムの社内認定制度

「2020年 環境取り組みプラン」へリンク

Voice

製品分野

環境にやさしい製品の開発

＜製品分野担当＞　取締役専務役員　遠藤 真

製品分野における環境性能向上、特にCO_2排出量の削減とは、一言で言えば燃費性能の向上を意味します。これはお客様に燃料コストの削減という効果をもたらすものでもあり、その意味でも積極的に進める意義があります。

従来型エンジンの効率向上を図ると同時に、電気など他エネルギーとの併用を促進することによる燃料使用量削減にも取り組んでいます。これらに加えて、燃費に直接影響を与える空気抵抗などの低減、車両の軽量化、さらに将来技術としてディーゼルエンジンの廃熱再利用についても研究しています。
これらの多岐にわたる研究開発を推進するためには、エンジンや電子制御などを含めた総合的な改良および最適化を、効率よく実施していくことが重要になります。そこで「モデルベース開発（※）」という手法を駆使し、開発工数を絞る試みをおこなっています。

また、多様なエネルギーの活用が世界各地で進められています。
各国・地域では各々の事情に合わせて、水素エネルギーを使った燃料電池、バイオ燃料のような再生可能エネルギー、天然ガスなど多種多様なエネルギーの利用が試みられています。
ユーザーの意見をよく聞きながら、それぞれの国や地域に合った適格商品を提供すべく開発を推進しています。

循環型社会の構築に向けては、リサイクル性を重視した製品開発のほか、再生可能エネルギーの活用にも取り組んでいます。たとえば鉄鋼の精製工程や化学プラントで出てしまう余剰水素を燃料電池に活用できれば、地球環境循環に貢献できます。自然共生社会の構築というもう一つの主要課題にも、そうした活動を通じて貢献できるのではないかと考えています。

こうした取り組みをオーナーシップを持って継続的に行うことで、商用車の環境性能トップランナーとしてよりよい社会構築に貢献していけると考えています。

※シミュレーション技術を活用した解析手法

生産・物流分野

環境にやさしく生産し、効率よく運ぶ

＜生産・物流分野担当＞　専務役員　田中 一春

生産・物流分野における環境対応は、地球環境への配慮はもちろん、地域との友好関係を築くという意味合いもあり、非常に重要です。

「2020年 環境取り組みプラン」では、「低炭素」「循環」「自然共生」という3つの柱で多様な取り組みを進めていきますが、COP（気候変動枠組条約締約国会議）での議論の高まりなど社会動向を背景に、商用車メーカーとしての社会貢献性を考慮し、特に「低炭素」、つまり地球温暖化防止に向けたCO_2排出削減の取り組みに注力していきます。

その中で重要なことは、“自社の生産工程ではどのような環境対応が行われているかを知り、世の中の最新の環境対応技術はどこまで到達しているのかを知る。そして、その中における自社のレベルを把握すること”です。
それによって自社と外部の差が分かると、努力して追いつこうという意思が社員に生まれます。
また、最新の環境対応技術を取りこむと同時に、それらの技術を100％活かせるよう、現場の知恵やこれまで積み重ねたノウハウを結集することで、相乗効果を生み、大きな成果をあげていくことを目指しています。

「2020年 環境取り組みプラン」では、そういった改善の流れを脈々と繋げ、常に成長する組織を形成すること、そうした組織を担う人づくりをすることを重要視して取り組んでいきます。

また、生産活動には物流活動が密接に絡んでいます。当社では部品の8割以上が工場外から運搬されてきますが、部品を荷台に効率的に積み込んで便数を減らすことができれば、物流工程におけるCO_2排出量の削減ができます。
そのためには、たとえば運搬前に部品を組み立てず、分解して効率的に運搬しやすい形状にすることで運送効率を向上させるなど、物流も考慮に入れた「工程の全体最適」を図る必要があります。
そこで、開発・設計部門に対して、各々の部品の本来性能を保った上で作りやすく運びやすい形状を実現するという観点から、意見を伝えています。

また生産・物流分野から見て後工程となるサービス部門についても、定期交換による部品廃棄量を極力少なくし、製品の廃棄段階における物流量低減を図っています。

“ 社員が自社の環境対応に関する現在の状況を自覚し、同じ方向を目指しながらノウハウを共有する。マネジメント層は高い視野を持って社会の動向を察知し、進むべき方向を社員へ的確に示す”
そうしたサイクルを回し、「2020年 環境取組みプラン」で掲げた目標達成に向けた取り組みを進めていきます。

販売・アフター分野

環境にやさしい販売拠点で、
環境にやさしい使い方の支援

＜販売・アフター分野担当＞　常務役員　渡部 雅成

日野自動車では、環境法令の順守はもちろん、音やにおいなど近隣への影響にできるだけ配慮した「環境にやさしい販売拠点」づくりを進めています。これは地域と共生する拠点づくりを目的としたもので、推進する仕組みとして「エコ・マネジメント・ディーラー認定制度」を設けています。
認定には環境管理の160の監査項目をクリアする必要があり、認定後も維持継続を毎年チェックしています。
この活動のひとつとして、販売拠点や整備工場から排出されるCO_2や廃棄物の削減を進めてきましたが、「2020年 環境取組みプラン」では、お客様のCO_2排出量削減を「お手伝い」する活動を盛り込みました。
トラックやバスは、ライフサイクルを通じたCO_2排出量のうち、9割以上が走行中、すなわちお客様が使用する段階で排出されます。そこに対策を講じれば、CO_2排出量削減に大きな効果が得られます。

日野自動車では、私たちの商品に実際に試乗して最新の安全機能や省エネ性能をご体験いただくため、「お客様テクニカルセンター」を設けております。
ここでは、運行コスト低減を目的とした省燃費運転の講習会も開催しており、受講後の走行では受講前に比べて燃費が3割以上向上することもあります。
お客様に好評をいただいており、2005年の開設以来、安全の講習会と合わせて累計で5万人以上の方がご来場されました。

また各地の販売拠点でも、省燃費運転講習を開催しており、車両の用途に応じて運転アドバイスをしています。
お客様に環境にやさしく製品を使っていただくエコドライブ支援は、急加速・急停止をしないなど安全な運行につながるメリットもあります。
日野自動車のトラック・バスは、省燃費や安全のトップランナーとしてこれまでもお客様に高い評価をいただいています。今後はお客様に商品の機能をより深くご理解いただき、性能を最大限に引出していただくための活動がますます重要になると考えています。

販売・アフター分野では今後「2020年 環境取組みプラン」に沿って、環境に配慮した拠点づくりと並行し、提供した車両を環境に優しく、長く安全に使っていただくことでお客様を、そして社会の物流を支えていきたいと考えています。

Copyright © 2013-2015 Hino Motors, Ltd. All rights reserved